



月は地球からいちばんちかい天体です。むかしから人々は月をながめて歌にしたり、満月をみてはそこにいろんすがたを思いうかべてきました。あなたには月がどんなふうに見えますか？ つぎの満月の夜、月をゆっくりかんさつしてみてください。くろいもようやかたちが、月のひょうめんにかがびあがってみえるのがわかるでしょう。



日本：
ウサギがもちをついているすがた



ネイティブアメリカン：
きれいな女の人のよこがお



アラビア：
おそいかかってきそうなライオン



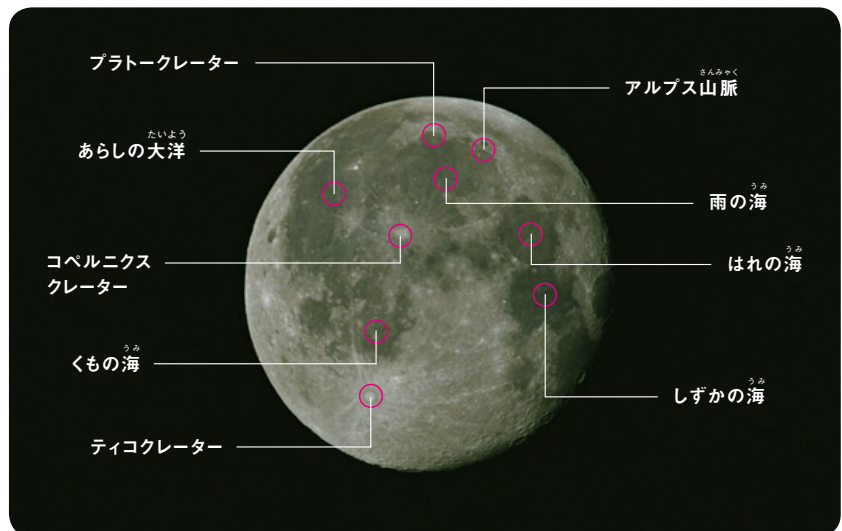
天体ぼうえんきょうで月をのぞいてみよう

天体ぼうえんきょうで月をみると、ひょうめんにまるい穴がたくさんあるのがわかります。その穴は、クレーターとよばれ、小さなものから大きなものまで、かぞえきれないほど。クレーターは、小さな天体たちが月にしょうとつしたときにできたものです。
※満月のときは真上から光があたるので、地形をりったいきにみることはできません。かけた月のほうが、光がよこからあたり影ができるので、地形がよくわかります。



月の地名

月の地形にもさまざまなまえがついています。ひょうめんのくろいところは「海」とよばれ、ひかくてき平らな場所です。

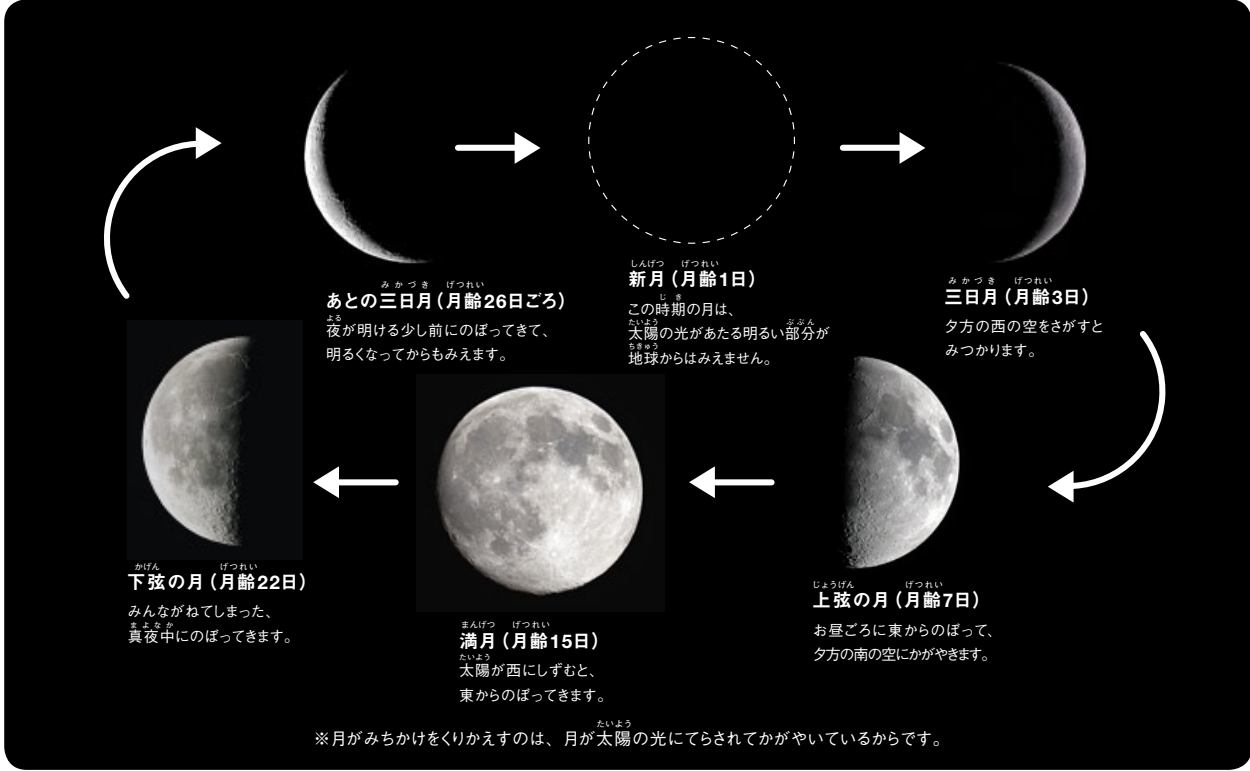




月のみちかけ

夜、空をみあげると、満月、半月、三日月…いろんなかたちの月をみたことがあるでしょう。月は毎日かたちをかえ、すがたをあらわすじかんでもわかります。およそ29.5日かけて地球をまわり、みちかけをくりかえします。毎日、月をかんさつしてみてください。月がきそく正しくかたちをかえていくのがわかるはずですよ。

毎日かたちをかえるんだね



日本人と月

きそく正しくみちかけする月を、むかしの人は曆としてりようしてしていました。いまでもカレンダーには、1月、2月というように「月」という文字がつかわれています。日本人はむかしから月にしたしみ、物語や歌をつくってきました。中秋の名月とよばれる日には、「お月見」をするしゅうかんのこっています。また、毎日かたちをかえる月に、新月(朔月)、満月(望月)、十五夜、上弦の月、下弦の月…と、たくさん名前をつけています。月にこんなにたくさんのおなまえがあるのは、ハワイと日本ぐらいだそう。むかしの人がどれだけ月がすきだったかがわかりますね。

イラスト:高瀬尚也 写真(月のみちかけ):加藤保美



みなさんに 感動や喜びを届けたい

ビクセンは、天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、ルーペを扱う総合光学機器メーカー。社名は、サンタクロースのソリを引く1頭のトナカイの名前に由来し、サンタやトナカイのように、「みなさんに感動や喜びを届ける会社になりたい」という想いがこめられています。「自然科学応援企業」として、多くの方が自分の目で星や鳥を見ることや、虫や植物にふれることのきっかけづくりと、そこにある感動や楽しさを伝えていきます。

ビクセンワンダーくらぶ 「トナカイ」会員になろう!

ビクセンワンダーくらぶ「トナカイ」では、自然と親しむための情報やビクセン製品情報を発信するとともに、観望会などのイベントも開催。天体望遠鏡や双眼鏡といった光学機器を最大限に活用し、レンズを通してこそ体験できる感動的な世界を一緒に楽しみましょう。詳しくはビクセンウェブサイトまで。

www.vixen.co.jp

Porta II A80Mf

天体望遠鏡を初めて使う方におすすめの入門機。お昼の景色から夜の星空まで、1日中活躍する望遠鏡です。
天体望遠鏡「ポルタII A80Mf」 ¥57,750



【お問い合わせ】ビクセンカスタマーサポート ☎ 04-2969-0222 (平日 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:30)
www.vixen.co.jp